

# 大人の本と子どもの本 図書館はバラバラでいいの？



イラスト：ありはらせいじ

知っていますか、図書館が400m離れた2か所に分けられるのを。新しく作られる図書館には大人の本だけ、子どもの本は市民センター（現在地）に。分けるのは「子どもがうるさい」から（議会答弁）。そんな図書館でいいですか。図書館は大人も子どもも楽しめる場所。親子で一緒に本を探したり、友だちと一緒に調べ物をしたり、静かに本が読める**閲覧室**、誰もが使える**図書館は、本と人、人と人との出会いの場。広くて、明るくて、ゆったり過ごせる場。**市が作ろうとしている図書館で実現するでしょうか。狛江市は図書館分割は市民の同意が得られていると言いますが、図書館が分割されることも、2年間休館になることも知らない市民がまだ大勢います。そのために直接市民の意見を聞くのが**住民投票**。住民投票を行うには、まず**住民投票条例制定請求署名**を集めることが必要です。署名集めを手伝ってください方募集中です。狛江に選挙権がある方ならOK。みんなで住民投票を実現しましょう。

## 『市の計画どおり、分割・移転』が『分割せず、現在地で拡充』が 新図書館の在り方は住民投票であなたが選ぼう！

### こまえ図書館住民投票の会

請求署名を手伝ってくださる方は、ご連絡ください。



← LINEをご利用の方は、左のQRコードにかざすと事務局につながります。

右のQRコードにかざすと事務局へのご連絡フォームに移動します。→

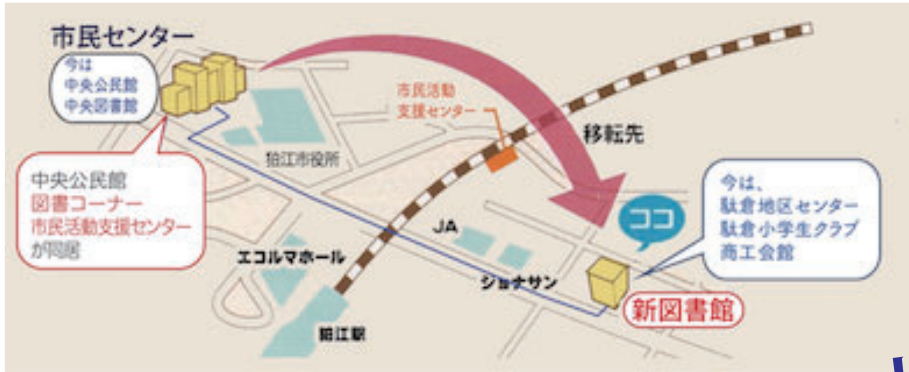




# みんなが使う施設なのに、知らないうちに図書館が2カ所に分けられる？

## 市民が市と協働で作った「市民提案書」とはかけ離れた計画

狛江市は市民センターの老朽化に伴う改修のために、市民と市が協働で1年かけて作った「市民提案書」（2016年提出）を基に検討してきましたが、2020年8月、現在市民センター内にある図書館を分割・移転するという「基本方針」を、市民の意見を聞かずに突然決定しました。すでに、新図書館設置の基本構想をまとめ、基本設計を先に進めようとしています。



新図書館は、共有面積を含めた図書館スペースは現在より狭く、敷地の制約で、地上3階・地下1階の狭い建物です。ゆったり本を読んだり、調べたりできる滞在型図書館は困難。

### しかも2年間休館！

市役所前や狛江駅前での宣伝では、いまだに子どもの本と大人の本を2カ所に分けてしまう市の図書館の分割・移転計画を知らない市民が少なくありません。

子どもと一緒に利用できないなんて、困る！

駐車場もないし、バスも通らない。

市民の声

一般書と新聞・雑誌とが2カ所になって大人だって不便。

本が増えないのに、使いづらくなる？

中央図書館機能が2カ所に別れるなんてありえない！

住民投票は市民が意見を示す機会を保障するものです。新図書館は『市の計画どおり分割・移転』か『分割せず現在地で拡充』かを住民投票で選びましょう。

### 住民投票の3ステップ

- ① 市民が住民投票条例の制定を求める請求署名（有権者の50分の1＝約1400人以上の署名が必要）を集めて市長に提出。
- ② 市長が住民投票条例を議会にかける。
- ③ 条例が制定されたら、住民投票の実施。

市民提案書（2016年提出）は全文をダウンロードできます。

<https://komae-shimin.tokyo/download/fulltext.pdf>

こまえ図書館住民投票の会

<https://komae-shimin.tokyo/choice/>

### 図書館住民投票呼びかけ人

- 伊藤 千尋（国際ジャーナリスト）
- 伊藤 淳一（会社経営）
- 小尾 将彦（元市民センターを考える市民の会世話人）
- 小川 泰子（元狛江図書館司書）
- 小俣 眞智子（元教員）
- 大熊 啓（シンガーソングライター）
- 亀山 陽子（元公民館保育者）
- 小島 喜孝（元東京農工大学教授）
- 坂本 昭雄（元教員）
- 杉本 圭治（元市民センターを考える市民の会世話人）
- 永山 利和（元日本大学教授）
- 野口 信彦（日本シルクロード文化センター代表）
- 英 伸三（写真家）
- 林 健彦（元都立図書館司書）
- 広木 克行（神戸大学名誉教授）
- 深井 せつ子（北欧画家）
- 堀 恒一郎（国学院大学名誉教授）
- 増田 善信（気象学者）
- 箕浦 康子（劇団民藝）
- 宮川 裕子（歯科医）
- 山岡 義典（法政大学名誉教授）
- 吉田 清明（狛江・まちづくり市民会議）
- 和田 哲子（子どもと教科書狛江の会）